

草の根ニュース 97号 2017年4月28日（偶数月刊行）米軍居座り71年を機に、日本国民県民の主権と誇り、正当な民族意識目覚めを！

「平和的で責任ある政府が樹立されたとき、連合国の占領軍は、直ちに日本国から撤退しなければならない」（ポツダム宣言 1945年）。「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」（憲法前文）

～ 沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動 ～

# 草の根ニュース

基地と戦争なくす憲法9条実現政府のために

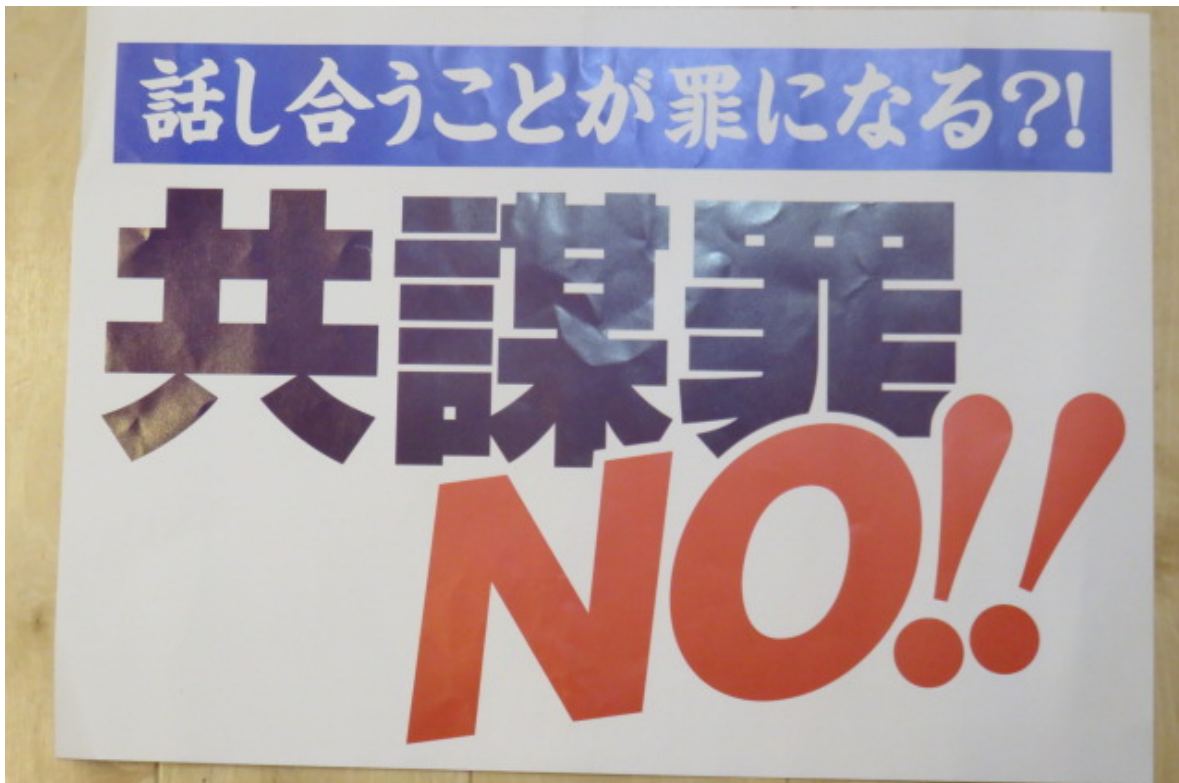
■本部(東京) : 〒150-0042  
東京都渋谷区宇田川町 19-5 山手マンション 1001  
■電話・ファックス : 03-3461-5758 090-4175-2010(平山基生)  
■メール : kusanone@world.ocn.ne.jp  
■ホームページ : http:// www.kusanone.org  
■郵便振替口座: 00190-5-611535 沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動  
米軍基地をなくす全国の会結成促進支援カンパ 大歓迎！

## 「共謀罪」全国民を監視する大弾圧法案を必ず阻止

基地なくす運動を「テロ準備」とみなす深刻な危険性のあるテロ等組織犯罪準備罪

法案 = 共謀罪に強く反対します

米軍基地をなくす草の根運動が声明



共謀罪によって、基地に反対する運動

翁長沖縄県知事、「埋め立て」承認撤回へ辺野古新基地建設阻止の闘い 新しい段階 全国的支援を！

私たちは、米兵による犯罪や事故、米軍による戦争の根源である、米軍基地に反対して、この16年間、運動を続けてきました。私たちは、強くテロに反対し、正々堂々、基地撤去の組織を作り、「基地は必要だ」と洗脳されている多くの国民の意識を変えるため、闘ってきました。今、私たちは、新基地を阻止するだけでなく、全基地をなくす運動に取りかかっています。しかし、

動はテロ集団とみなされ

共謀罪によって、あなたと私たちの生活と活動は監視され、

共謀罪によって、あなたと私たちがテロリストに仕立てられる現実の危険性が迫ってきています。

私たちは、祖国「日本沖縄」の真の独立・中立、平和と民主主義、生活向上と、憲法を実現するために、共謀罪の新設に強く反対します。

私たち米軍基地をなくす草の根運動は、いま国会に上程がたくらまれている「共謀罪（「テロ等組織犯罪準備罪）」の新設に強く反対します。過去の法案に対しても、全く不要であるばかりか、社会の基盤を壊すものとして私たちは反対してきましたが、法案の本質が全く変わらない以上、立憲主義を否定し、「治安維持」法の下での侵略戦争の歴史を是とする「歴史修正主義」極右思想をもつ安倍内閣のもとでの更なる危険性について強く警鐘を乱打するものです。

過去に3度国会に上程され、いずれも廃案となった法案同様、いま準備されている共謀罪は、事前に相談すると見なされただけでも処罰するとしています。そういう判断自体が捜査機関つまり国

平山知子弁護士の沖縄レポート

## 辺野古の海に米軍基地はいらない！

1月末に、沖縄に行ってきました。

旧知の友人が船長をしている「平和丸」という船に乗せてもらい、辺野古の工事現場と米軍基地を、海側からしっかり見てきました。あらためて海の美しさに感動！何しろ船べりから海底の珊瑚礁がはっきりと見え、箱めがねで見ると、泳いでいる魚まで見えるのです。このような美しい海をつぶして戦争のための巨大軍事基地を作るなんて狂気の沙汰かと思います。

工事のために設置されたブイを乗り越えて進むと、高速で海保の船が追いかけてきました。平和丸の船長は「海保の諸君、あなた方は、日本国憲法を守ると誓って公務員になったでしょう。国民からは『海猿』と呼ばれ敬愛されているのですよ。国民の生命と美しい海を守るとい

家権力が行うのです。これは、人の心の中に手をつき込み、憲法で絶対的に保障されている「内心の自由（思想信条の自由）」を侵害するものに他なりません。結果として、表現の自由、集会・結社の自由など自分の意思を表明する、あるいは表明しない自由が根本から奪われてしまいます。

しかも、現行法で、十分なテロ対策が可能であるにもかかわらず、共謀罪を新設しなければ東京オリンピックを開催できないというのは、オリンピックを人質にとった詭弁であり、オリンピックの政治的利用です。

このような法案を強引に上程し成立させようとするアベ政治の姿勢を許すわけにはいきません。法案の国会上程を断固阻止すべきです。

2017年2月28日

沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動  
運営委員会

(共謀罪法案は、4月に国会に上程されました)

う諸君の本来の任務に戻って、さあ、一緒にたたかいましょう！」とスピーカーで呼びかけまし



辺野古の浜に4月5日で4735日頑張っている  
ヘリ基地反対協のテント全景（シュワブ前は千

た。

私も思わず「そうだ！」と拍手喝采。当時はまだ本格的工事前で、日曜日でもあったので、彼らが船に乗り移ってきて妨害するような乱暴なことは起こりませんでした。

大浦湾から辺野古岬をまわり、団結小屋のところで上陸。その日もおじいとおばあが座り込みを続けていました。「絶対に諦めない」との看板が、静かに海辺の陽を浴びていました。いよいよ、本格的工事が始まっている今は、海上でも陸上でも、毎日が命がけの危険な抗議行動になっているだろうと、心が痛みます。

米軍基地は沖縄だけの問題ではありません。

首都東京にも、巨大横田基地があり、都心のど真ん中に米軍麻布ヘリ基地があります。オスプレイは全国どこの空でも飛び、しかも高度 60 M・超低空訓練をやるのです。米軍には日本の航空法も旅券法も適用除外。完全な主権侵害です。主権侵害は、沖縄も本土も全く同じです。

辺野古に基地を作らせないためにも、米軍基地がいかに関の主権を侵害しているか、私たちの生命や暮らしに危険を与えているかを学んで、沖縄県民と手をたずさせて、たたかっていこうと決意を新たにす旅でした。（「あかしあニュース」より転載）

## 読者の声

### 前泊博盛さま（沖縄県）

全基地の検証を急ぎましょう。（注・前泊さんは、『地位協定入門の編著者です』）

### 梁川則子さま（北海道）

遅くなりました。あちこちのキャンプで、納入したのか否かという状況です。

### 中村博さま（世田谷区）

私も90歳を超えました。身体もあちらこちらと動かなくなりましたが、基地をなくすために、何としても力になりたいと思います。おたがい頑張りましょう。

### 伊東タエ子さま（名古屋市）

骨折し、入院してました。大変遅くなって申し訳ありません

### 信太三代子さま

胸を痛めています。めげずに頑張ってください。

### 遠山やす さま（市川市）

辺野古、高江基地反対弾圧、腹が立って仕方ありません、勝つ事はあきらめない事

### 新海 寛さま（長野市）

ちょっと真面目に署名に取り組んで見ました。といっても、送られてきたわずか一枚にすぎませんが。ところで小生は今、長野市「憲法9条の会」連絡会の代表で、動かない地域の9条の会を動かすのにどうするか、動いている会をより活発に動かすにはどうするか、で悩んでいます。そのなかで、長野に数年前にできた沖縄と連帯する会長野の活動を見ておりますと、月に1回位、何等かの取り組み、映画会、講演会、写真展などを開催し、沖縄の現状を紹介し、うったえて、すこしずつですが、会員が協力者が増えています。

その事を見ていますと、草の根運動も、世の中の人々に草の根運動を知ってもらう活動が必要なのではないかと思えるのです。会員に多量の情報を流してうたえる現在の方法は会員から、その知人へと広げる事をねらっていると思えますが、私のように本命とするものがある人間は動くことが少々むずかしいのです。もう少し広く網を打って見ることも考えられてよいのではないのでしょうか。ま、こんな事は釈迦に説法で、先刻ご承知と思いますが、一筆しました。（事務局から一貴重なご意見です）

### 西橋直行さま

会報送付ありがとうございます。「基地のない沖縄」の

実現を祈っています。

**矢口五郎さま**（小金井市）

前略 貴会は続けて基地撤去のため頑張ってください。ご健闘をお祈りいたします。

**高田和子さま**（御殿場市）

草の根ニュース いつも配信ありがとうございます。私達も昨年11月9条の会で沖縄に行って参りました。そして、地元の方々と一緒にスタンディングして来ました。本当にひどい！政府の、行動、言動に安倍政治を打倒しなくてはなりませんね。私達、御殿場も基地の街、オスプレイ、監視活動など行っております。米軍基地をなくす草の根運動を行っている皆様ごくろう様です。お互い頑張りましょう！命ある限り！よろしくお願い致します。

**宮本優子さま**（高崎市）

先日はジラード事件のコピーをありがとうございました。とんでもなく非人間的なジラードの犯行は許せません。（注、群馬県相馬原演習場で米兵が面白半分に葉きょうをひろう農婦坂井かなさんを射殺し執行猶予の刑をうけた事件・ジラード事件1957年）そして、今でも島袋さんのような事件が起こるといふ事は本当に悲しいです。又、地位協定という差別的協定の存在を許してはいけません。このところ、矢部宏治氏や孫崎享氏らの本を読みまして、日米安保条約を破棄しなければ基地は無くないのではないかと思いました。又、親泊教授の「ひとつの基地を無くすのは難しいが、全ての基地を無くすのは簡単である。日米安保条約を破棄すればいいのである」という言葉は目からウロコです。私達はこれを目差

し、次に東アジア共同体を目指すべきではないでしょうか。ところで3月9日には相馬ヶ原の集会に参加しました。朝9時半頃着きましたら、既にオスプレイは飛来してしまっていてその姿は見られませんでした。新聞によると、ある女性が「機体は思った以上に大きくて、あんなものが落ちたら、うち一軒が燃えるぐらいじゃ済まないと思った」と言ったとのことでした。集会は150人位でした。右派の街宣車が来てまして、夫の胸をなぐりました。警官達は早くから来て見ていたのですが、右派が夫に近寄って来ても、すぐにではなく、なぐられた後に制止したのでした。「大丈夫ですか」と夫に聞いたそうですが、どこの警官も似た様なものですね。明日3月17日は、福島第一原発事故損害賠償群馬訴訟の判決の日です。前橋の裁判所の教育会館に多くの人々が、又、集まる事と思います。この国は問題だらけです。危険がいっぱいです。

**今村紀子さま**（飯田市）

沖縄の日々から眼がはなせません。まわりの人々もその気持ちで、とりあえず署名を送ります。またカンパも募りたいと思っています。くじけず がんばる姿に、日々はげまされて、自分のまわりの暮らしに心を配る日々です。どうか健康に留意されてご活躍ください。

**H・Y さま**（東京都）

昨年1月から、タクシー以外乗物は乗れず、歩行器でノロノロ歩きで、混雑した場所は歩けず、84歳になってからは外出も無理になり、家の周りをノロノロ、下ばかり足元を見て歩くので姿勢も猫背に皆様と行動できずに残念です。（編集部からー 私たちも頑張ります）

踏む 詩

あ・け・み

もちやげた足は  
おろさなければならぬ

追いかけてくる老いを  
受け止めねばならない

断捨離し損ねた躰を  
ゆさゆさと

昨日は大丈夫だった  
今日も大丈夫

躰をはって  
根を張って

階段を踏む  
薄氷を踏む



# どなたでもご参加を！

『本当は憲法より大切な日米地位協定入門』（前泊博盛編著）（創元社）学習会へ

とき 2017年7月8日（土）1-3時（予定）  
ところ 草の根運動事務所（東京都渋谷区宇田川町19-5 山手マンション1001、☎090-4175-2010）  
テキスト 『本当は憲法より大切な日米地

協定入門』（前泊編著）Q&A11「同じ敗戦国のドイツやイタリア、また準戦時国家韓国ではどうなっているのですか？」  
報告者 続報

草の根運動 2月、3月運営委員会  
辺野古新基地建設阻止と全国組織「基地なくす会」結成のため団体回りを決定  
草の根運営委員会は、1月運営委員会（28日開催）で、全基地地図作製発注を承認し、小冊子『米軍基地リスト—全基地撤去のために』とともに活用すること、できるだけ早く団体回りに着手することを決めました。決定に基づき、2月17日、労働組合などに入会と賛同を呼びかけました。沖縄訪問報告も行われました。2月28日と3月25日開催の運営委員会では、引き続き、トランプ政権と安倍政権の辺野古新基地建設を阻止する運動の強化、日本全国都道府県に「基地なくす会」を組織していく課題をどのように実行していくかを討論しました。

位

## 4月19日と29日新基地阻止大集会、東京など 全国の連帯で新基地必ず阻止

アベ首相、オール沖縄と多数日本国民が反対してきた辺野古新巨大米軍基地埋め立て岩礁破碎強行を言明  
元米海兵隊員軍属が「日本沖縄」の20歳の女性をレイプ殺害遺棄した米軍基地を「長期存続」



辺野古新基地建設阻止の重大局面で、基地なくす政党各党は、必ず勝つ、という闘う決意を表明。



### 埋め立てられれば再び帰ってこない美しい辺野古の海

安倍政権は、3月末で「岩礁破碎許可」の期限が切れたにもかかわらず、新たな申請をせず海底のボーリング調査を始めました。2016年12月13日、米海兵隊普天間基地所属の垂直離着陸機MV22オスプレイ墜落事故の後2か月も経たない2017年2月6日午前8時40分、防衛省沖縄防衛局は、米軍新基地建設に伴う名護市辺野古の埋め立てに関わる海上工事に着手しました。米日政府は、2月3日“狂犬”というあだ名のあるイラク ファルージャ攻撃の司令官マティス国防長官と安倍首相の会談で辺野古基地建設強行を確認した直後でした。ファルージャ攻撃には、沖縄の米海兵隊も参加し市民を多数虐殺したことで有名です。辺野古着工を手土産に、安倍首相は、2月10日訪米し日米共同声明を発表。「長期的で持続可能な米軍のプレゼンス（注、居座り占領のこと）を確かなものにする」ために「日米両国がキャンプ・シュワブ辺野古崎地区およびこれに隣接する水域に普天間飛行場の代替施設を建設する計画にコミットすることを確認」「これは、普天間飛行場の継続的な使用を回避するための唯一の解決策である」と、米日両政府が死に物狂いで基地建設を実行しようとしていることを示しています。

平山草の根共同代表は、1月22日、へり基地反対協の幹部の「平和丸」に乗船し、瀬高の港から、広大な米軍基地キャンプシュワブが見える大浦湾の埋め立て予定海面を、座り込みテントのある辺野古海岸に向かって航行し視察しました。兵庫民主商工会の方がたとの同乗でした。

船上から見る事ができる美しいサンゴ礁も、投入された巨大なコンクリートブロックで回復不能に破壊されるのです。全国民的な力でこの破壊活動を阻止しなければなりません。（加筆再録）

# ドキュメンタリー映画「ザ・思いやり」事務局と初顔合せ

全国的上映運動を加速し、パート2制作資金を集めて支援しましょう

2017年4月14日、草の根運動事務局長平山基生さんと水上正貴運営委員は、ドキュメンタリー映画「ザ・思いやり」事務局の佐藤契（ちぎり）さんと、事務所で初顔合わせしました。ドキュメンタリー映画「ザ・思いやり」は、米国出身のリラン・バクレーさんが監督・編集したもので、すでに日本全国400箇所以上で自主上映されました。同事務局は、次のように問いかけています。「シッテイマスカ？日本の税金が在日米軍のために使われていることを。在日米軍家族のための住宅、小中学校、教会、銀行、ゴルフ場、

**編集後記**                      トランプ米大統領によるシ

マクドナルドなどの施設に税金が使われていることを。電気、ガス、水道料金は使い放題、遊びでも有料道路料金がすべてタダだということ。米兵による凶悪・暴行事件の賠償金にも使われていることを。6兆円を超える私たちの税金がすでに使われていることを。

「ザ・思いやり」パート2制作中で、その制作資金を募金中です。

「ザ・思いやり」事務局と草の根運動は、今後の協力関係を作っていくための具体的な話し合いを継続していくことになりました  
とであってはなりません。核をもてあそぶ、ト

## 静岡の沖縄を知る会会員と懇談

平山基生草の根運動事務局長は、4月19日午後、富田英司さんと懇談する予定です。富田さんは、沖縄辺野古で不当逮捕起訴された方の公判に出席して、19日に東京で開かれる新基地建設阻止集会に出席するため沖縄から上京。富田さんは静岡沖縄を知る会役員で、普天間基地に隣接する宜野湾市上原で平山事務局長と3年間アパートをシェアしました。活発に活動している静岡の会の経験や今後の運動について話し合う予定です。（4月17日現在）

## 北海道矢臼別演習場(基地)に川瀬記念館建設へ

4月28日に、矢臼別演習場内で開かれる、川瀬記念館建設委員会に、平山基生事務局長が出席することになりました。

「矢臼別演習場を平和公園に」をかかげる矢臼別平和公園建設委員会の浦船三郎さんと連絡。自衛隊管理のれっきとした米軍基地矢臼別演習場を、日本国憲法に従い、平和公園に。

リアへのミサイル攻撃、北朝鮮の核実験やミサイル試射訓練へのきわめて強硬な政策、安倍首相の浅ましいまでの米国追従外交などによって、北東アジアでの核戦争の危機は一気に高まっています。トランプの国連憲章完全無視の武力攻撃、安倍首相の日本国憲法完全無視の日米戦争協力や恐るべき反民主主義の弾圧法案共謀罪法案は、人類の知恵に反している点で全く共通しています。世界と日本の歴史の分岐点とさえ言ってもよい危機です。歴史は、必ず草の根民衆の幸福増進の方向へ進歩すると確信します。しかし、それが、第1次大戦、第2次大戦のような戦争の惨禍を経なければ実現しないというこ

ランプと金正雲。トランプに付き従って、唯一の戦争被爆国日本でありながら核廃絶条約国連会議に不参加の安倍内閣。

わたしたちの草の根運動もきわめて困難の中にあります。しかし、頑張らなければ歴史に対して責任ある態度とはいえません。会員の方がたの、心のこもったご送金、一言メッセージが私たち、運営委員、事務局への何よりの励みです。

最近では見られなくなった日本全国米軍基地地図の制作がいま、進行中です。ご期待ください。前号『米軍基地リスト』ご活用もあわせてお願いいたします。(H)



# 「在日米軍基地が標的」、<sup>練</sup>北朝鮮のミサイル発射訓

## 安倍政権は、トランプと一体になって、みたび 日本沖縄に「ヒロシマ、ナガサキ」をくり返す気か！

### 「急迫不正の主権・人権侵害」は、在日米軍によって現に今！存在

米軍に基地を提供する条約（安全を保障するどころか真逆の危険極まるいわゆる「安保」）がなくなった後に、「急迫不正の主権侵害」が起こり自衛隊を使って「防衛」＝戦争するなどということが想定されています。しかし、その想定は、在日米軍がいわゆる「抑止力」であるという安倍首相たちや米政府の宣伝を、主観的にはともかく客観的には半ば認めたに等しい論理です。しかも、現実には、現に今、在日米軍の存在こそが、日本沖縄にとって「急迫不正の主権侵害」そのものであることが、3月に4発発射された北朝鮮によるミサイル発射訓練とそれに伴う北朝鮮の「標的は在日米軍基地」という言明、またその後のトランプ米政府のシリアミサイル攻撃（4月7日 - 日本時間）や朝鮮半島に対する、横須賀を基地とする米原子力空母の朝鮮海域への出動態勢をふくむ米軍の動き、トランプの発言などによって証明されています。

米国の精神医学者35人(確か)がトランプには精神障害がある、との声明を出しました。「気違いに『刃物』ならぬ「核兵器」のボタンを持っているのだから恐ろしい。そのトランプは、「あらゆる選択肢がある」とツイートし、「一線を越えたらシリアのようにやるぞ」ということです。北朝鮮が、ICBMを持ったら、「一線を越えた」と言うことになるのかもしれませんが。その時は、米軍は、「北」を攻撃すると言っている。「北」は、在日米軍基地を目標としたミサイル発射訓練をしていると声明。そういう中での戦争準備の一環が、共謀罪法案です。アベは、トランプを手放しで支持しています。「核兵器」による火遊びほど危険なことはありません。いま核兵器は、小型でも、広島、長崎原爆の何十倍何百倍の破壊力を持っているといわれています。みたび、ヒロシマ、ナガサキが日本や韓国に起こってからでは間に合わないでしょう。

核兵器禁止条約について、今年2017年3月27日から31日にかけて、国連で、会議が開かれ、7月7日までには、核保有国の参加を求めながらも、その段階で参加がなくても条約を締結するという方向性が確認されました。それまでの、2か月から3か月の間に、朝鮮半島や日本の上で、核兵器が使用されないという保証はありません。**在日米軍基地は、核ミサイルを吸引する磁石、マグネットのようなものです。これほど危険な急迫不正の主権と人権侵害、安全保障への脅威はありません。**

それにもかかわらず、国民の多数は、「米軍が日本を守っているという神話」で洗脳されています。日米政府、産経、読売、テレビ等で。

今、米軍が、1945年夏、日本沖縄占領体制を確立してから71年余りになります。1952年4月28日発効の基地条約によって、ポツダム宣言（米英中ソによる1945年7月の宣言）の12条「日本が独立したときには、占領軍は直ちに日本から撤退すべし」に反して居座ってからも65年近くになります。昨年2016年4月28日には、元米海兵隊員によって20歳の女性が強姦殺害遺棄されました。沖縄県では、復帰後だけで、氷山の一角で統計に表れた数字だけでも575件の凶悪事件が起こっています。71年余り続いている毎日毎日の米軍機の耐え難い騒音、オスプレイの日本沖縄全土への配備、米軍の他国への侵略などは、いくら長期に居座っていようと日本にとって**現存する「急迫不正の主権と人権の侵害」**以外の何物でもありません。この**米軍基地こそが**、差し迫った日本の主権侵害であることは、『本当は憲法より大切な日米地位協定入門』（前泊博盛編著）を一読すれば明らかです。米日政府の催眠術に洗脳され主権意識を眠り込まれることなく、直ちに辺野古新基地工事阻止に立ち上がり、また「急迫不正の主権と人権の侵害」である全基地撤去へ「基地なくす会」を組織していかなければなりません。